
9TH
REGULAR CONCERT



The graphic design features a series of vertical lines on the left side, with the thickest line on the far left and several thinner lines to its right. Two horizontal lines are present: one near the top and one near the bottom, both extending from the left edge towards the right. The text '9TH' is positioned above the top horizontal line, and 'REGULAR CONCERT' is positioned below it, with the top horizontal line acting as a baseline for the text.

御挨拶

本日は、お忙しい中をようこそおいで下さいました。私共の定期演奏会がここに9回目を迎えることができましたのも、ひとえに皆様方の暖かい御支援の賜物と部員一同心より感謝しております。

ここ数年、クラブの規模拡大と共に、クラブに対する部員の考え方も多様化してまいりました。そのため多くの困難が生じておりますが、それを乗り越えた私共のまとまりを、今日の演奏会で皆様を感じ取って頂ければ幸いです。どうか最後まで御鑑賞の上、御意見、御批判をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

部員一同

東京大学古典ギター愛好会

第9回

定期演奏会

1981年10月31日(土)

青山タワーホール

PROGRAM

1st Stage

プリंक・プランク・プランク

シンコペーテッド・クロック

ワルツィング・キャット

サンドペーパー・バレエ

L・アンダソン 作曲

1・2年生合奏

2nd Stage

コルドバ

アルベニス 作曲

貝塚 正彰、鈴木 一志

対話風小二重奏曲 ラルゴ・ロンド

カルリ 作曲

関 総一郎、中村 昭裕

ジムノペディ 第1番・第3番

グノシェンヌ 第5番

サティ作曲

佐々木 淳、羽田野 俊一

アンクラージュマン

ソル 作曲

鈴木 雄司、森山 真

3rd Stage

「カヴァティエーナ組曲」より

タンスマン 作曲

平岩 剛

アルトブロックフレーテとギターのためのソナタ イ短調

J・B・レイエ 作曲

酒井 吉保、松永 猛裕

タンゴ 二長調

マジョルカ

アルベニス 作曲

永岡 大治

亜麻色の髪の乙女

ドビュッシー 作曲

逝ける王女のためのパヴァーヌ

ラベル 作曲

3年生合奏

4th Stage

オーボエとバイオリンのための協奏曲 二短調

J・S・バッハ 作曲

2年生合奏

セビリア

アルベニス 作曲

組曲「恋は魔術師」より

ファリャ 作曲

1・2年生合奏

1st STAGE

ルイ・アンダソン (1908~1975) という作曲家を皆さんは御存じでしょうか。クラシックとポピュラーの貴重なかけ橋として、大人から子供まで多くの人に親しまれる作品を数多くかいた現代アメリカを代表する作曲家です。名前は知らなくとも「ラッパ吹きの休日」「シンコペーテッド・クロック」等、彼の作品はどこかで一度は耳にしたことがあると思います。今回、定期演奏会のオープニングとして選んだ4曲は、どれもそんな彼の機知に富んだアイデアに基づく楽しいナンバーばかりです。どうぞリラックスして聞いて下さい。

プリンク・プランク・プランク

何とも奇妙なこの題名は、あえて日本語にするならさしずめ“ボトン・コトン・パタン”といったところ。原曲は弦楽のピチカート奏法によるものです。速いテンポの短い曲ですが、随所に出てくる効果音にも御注目を。ギターという楽器は爪弾きだけのものではないのです……。ほら演奏が始まると、のっけから“ボトン！コトン！パタン！……”

シンコペーテッド・クロック

この題名はつまり「シンコペーションの施された時計」。他の曲同様、音を聞いてもらえば納得がいくはず。時計の刻む音とベルの音に乗って有名なメロディーが流れますが、指揮よりもウッドブロックの音の方が正確だという噂もちらほら。この曲はアメリカではある人気TV番組のテーマ曲として、ミリオン・セラーを記録しました。

ワルツィング・キャット

ショパンの「小犬のワルツ」は有名ですが、アンダソンは「踊る小猫」をかきました。月夜の晩、すっかり浮かれきってワルツを踊る猫。そんな情景が目に見え、とてもエレガントなワルツです。でも猫たちの楽しい舞踏会も、最後は招かれざる珍客の到来でてんやわんやの幕切れとなってしまいます。浮かれた猫の鳴き声に御注目を。

サンドペーパー・バレエ

この曲の主役は、何ととってもやはり軽快な音を奏でる(?) 2組の“紙やすり”。大袈裟に言えば“紙やすり協奏曲”。こんなユニークで素適な曲が他にありませんか！我々ギターを手掛ける者にとって紙やすりは爪の手入れに欠かせないもの。今日は日頃お世話になっている紙やすりに感謝の気持ちを込めて…ステージが少々ザラザラになるのは御勘弁願って…弾きたいと思います。

あなたの聴きたいレコードがわずか200円で借りられます。

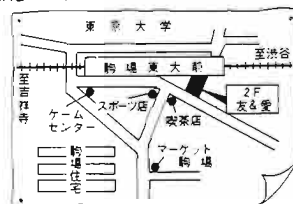


れこーど れんたる
RECORD-RENTAL
貸レコード 友&愛
Shop YOU and I

駒場東大前店

〒153 目黒区駒場1丁目31-6
TEL. 03(466) 7 0 1 5

学生証又は身分証明書でOK、社会人歓迎
料金：LPレコード1枚200円より
リース期間：1～5日間（リース日含む）
営業時間：AM. 10:00～PM. 8:00、定休日無



2nd・3rd STAGE

私達のクラブでは、4年生は事実上引退してしまいます。そのため、定期演奏会では3年生が最上級生。2ndステージと3rdステージでは、その3年生の演奏をお送りします。3年間のクラブライフの総決算となる彼・彼女達のステージに、どうぞ御期待下さい。

コルドバ

コルドバはスペイン南部の古都の名です。寺院の鐘の音を想わせる序奏を聞いて、きびきびしたリズムにのり情熱と郷愁に満ちたメロディーが歌われます。それはあたかも中世のムーア人の繁栄と没落の陰影を縦糸に、フラメンコジャズミンの香り、闘牛等を横糸に織りなした絵巻物のような感があります。

対話風小二重奏曲 ラルゴ・ロンド

1770年ナポリに生まれたカルリは、演奏や作曲に幅広く活躍し、近代ギター技法の基礎を築いた人です。この曲は、ゆったりとした優雅なラルゴと、心はずむ軽快なロンドから成り、二重奏の楽しさあふれる作品です。今宵は二人の奏者にどんな対話がなされるか、どうぞ御期待下さい。

ジムノペディ第1番・第3番 グノシェンヌ第5番

ジムノペディは、ギリシャの壺に靈感を得たと言われています。どの曲も4小節の序奏で始まり、荘重で静かな旋律が現れ、新しい和声による音色と伝統を無視した大胆な進行が用いられています。グノシェンヌは「クノツスの女達」の意味で、今日演奏する第5番はとろけるような美しい節を持っています。

アンクラージュマン

「第一喜遊曲」「慰安」などの名で皆様におなじみの曲です。技術的に難点もなく、とっつきやすい曲ですが、常に全体を見わたしていないと、音の洪水に流されるだけになってしまいます。題名の通り、くつろいだ気分で楽しんで下さい。

「カヴァティーナ組曲」より

“抒情小曲”というほどの意味の表題を持つこの曲は、5つの小品から成る佳曲ですが、本日はこの中から四篇を聴いて下さい。第1曲は軽妙な表情の前奏曲、第2曲は高雅な夢を含んだサラバンド、第3曲、音符も踊り出すスケルツィーノ、そして最後は、深く哀愁を湛えるバルカローレ（舟唄）です。

アルトブロックフレーテとギターのためのソナタ イ短調

J・B・レイエは、バッハと同時代のバロック後期にフランスで活躍した作曲家です。オリジナルは、ブロックフレーテとチェンバロのために書かれた曲ですが、今回はギター伴奏用に編曲しました。伴奏楽器としてのギターとブロックフレーテの音色をお楽しみ下さい。

タンゴ ニ長調 マジヨルカ

「タンゴ」は「スペイン組曲」の2曲目で、2拍子のハバネラ調のリズムの上に甘美なメロディーをのせた作品です。「マジヨルカ」は8分の6拍子のノスタルジックな舟唄で、前半は女声的な優しい愛の唄が続くのに対し、後半は朗々とした男声的な活気に満ちた唄が展開されます。

亜麻色の髪乙女 逝ける王女のためのパヴァーヌ

2曲ともオリジナルはピアノの曲です。ドビュッシーとラベルは、どちらも19世紀から20世紀に活躍したフランスの作曲家で印象派の大家です。両曲ともに繊細な美しさに溢れた曲で、ギターで奏するその幻想的なメロディーは、心の安らぎを与えてくれることでしょう。

4th STAGE

最後のステージは、再び合奏で組んでみました。まず前半は、バロック音楽からJ・S・バッハの作品を、2年生の合奏によってお送りします。後半は、1・2年生の合奏でスペイン色濃い2曲をお聞き下さい。1曲目は近代民族楽派の大家I・アルベニス、2曲目も同じく民族楽派の頂点をなすM・ファリャの手になる曲です。3曲ともギター合奏用に編曲しなおしたのですが、ブライムギターが大部分を占める合奏でオリジナルの魅力をどこまで引き出せるか、御注目下さい。

オーボエとバイオリンのための協奏曲 二短調

この曲は、バッハがライプツィヒ時代に作曲したもので、2台のチェンバロのための協奏曲ハ短調が原曲だと言われています。アルペジオ的フィギュアを持つバイオリン（第1ソロ）と、クリアな旋律線を持つオーボエ（第2ソロ）との対比が美しい名曲です。2つのソロを浮き立たせるため、今回は2台のアルトギターをソロに用い、イ短調に編曲して演奏します。第1ソロの技巧的で華やかなメロディーラインは、ギターでも充分聞きごたえのあるものと思います。尚、曲の構成は第1楽章（ $\frac{4}{4}$ アレグロ）、第2楽章（ $\frac{9}{8}$ アダージョ）、第3楽章（ $\frac{3}{4}$ アレグロ）の3楽章構成です。

セビリア

アルベニス「スペイン組曲Op. 47」の第3曲。特有の“スペイン的”アクセントを伴う3拍子の舞曲セビリャーナスの軽快きわまるリズムで運ばれ、中間には単純なうちに悲劇感の張りつめた歌が挿れます。この歌の部分は、アンダルシアの都セビリアに行われる古式ゆたかな春の聖週間、バルコニーなどから行列に向かって投げかけられる民衆の捧げ歌、サエタの気分をものまねたものと言われます。

組曲「恋は魔術師」より

1915年初演されたファリャの代表的なバレエ音楽です。グラナダのサクロモンテの丘にある、ランプの光がおぼろに照らしている影深い洞窟が舞台となります。ヒロインのカンデラは、夫の死後、二枚目の若いジブシー男カルメロと恋に落ちますが、二人の恋は夫の亡霊に悩まされ物語は展開していきます。最後に奏されます「火祭りの踊り」はこの組曲のクライマックスにおかれた名曲で、亡霊を追い払うために火を焚いて踊る場面の音楽で、神秘的なエキゾティズムがみなぎっています。本日はこの組曲より5部分を抜粋し演奏会用組曲に編み直したものを演奏致します。

Ⅰ序奏～バントマイム Ⅱ鬼火の歌 Ⅲ魔法の輪 Ⅳ真夜中 Ⅴ火祭りの踊り

天ぷら・とんかつ

金 松

(教養学部ウラ通称うらめしや)

TEL. (467) 6511

麻雀クラブ 泉

井の頭線駒場東大前駅前

TEL 460-4800

PROFILES

○ 3 年 生



大森 康子

女子部員の中では最も舞台経験豊かで、去年は「月光」、今年は「禁じられた遊び」と名曲を堂々と演奏してみせました。また、サークル活動もギターにとどまらず、テニスなどにも手を広げています。彼女の見かけによらない積極性は、我々部員も大に見習いたいところですよ。



佐藤 伸朗

人なつっこい笑顔が印象的。性格はずばりそのもので、おおらかな良い人です。指向性は、クラシックとギンギンのロックという分裂思考型。彼のアドリブはなかなかナウイ、と部内で評価されています。とにかくビートの利いたリズムが大好きとのことですが、車の運転だけは気をつけて下さいね。



貝塚 正彰

「イエイ！皆さん、僕法学部3年の貝塚です。」
実は優等生だが、いつもは浮わつた性格なのは、麻布高出身者の典型。おおらかで優しい性格の持ち主です。ただ、彼のウィット（というよりは詭弁）に対抗できる者はいません。目下はギターよりもテニスに熱中しているとか、とにかく楽しい奴です。



渋谷 真由美

女子部員の中では最も長いキャリアを持ち、現在はナントあの渡辺範彦門下の一員です。彼女のスケールの大きな演奏は、まさに岩手の大自然といったところでしょう。最近20万円のギターを購入、さらに大きな進歩を遂げています。おしやれにも気を配っている様子で、その着こなしはなかなかのものですよ。



酒井 吉保

ギターの腕は相当なもので、誰もが一目置いています。のみならず、音楽理論全般、麻雀等々多芸に秀でた誇り高き名古屋人です。昨年の定演では、合奏の指揮者として厳しい面を見せ恐れられなどもしましたが、実は困っている人を見ると助けずにはられない大変優しい心の持ち主です。



鈴木 一志

活発で行動的で、クラブの仕事を中心になって切り回す彼は、当愛好会に欠かせない存在です。飾り気がなく、明け透けに話すため、部員の多くとつき合いが深く、「イツシ」の愛称で学年を問わず皆に親しまれています。ギターは中南米系の曲を好んで弾き、じっくり味わいながら演奏する姿が印象的です。



佐々木 淳

青山通りとケーキ屋をこよなく愛し服装にもなかなか凝るシティボーイ。ジュースフルーツのファンで、いつもあの気持ち悪い声の物真似をしては一人で悦んでいます。反面、登山を好む等、野性味も秘めた男です。でも普段は穏やかな人間で、眼鏡の奥の優しい瞳は彼の渋いギターと相まって魅力的です。



鈴木 理

まるでつきを背負って生きているような男です。彼の人生がすべて順風に見えるのは、他人の僻でしょうか。控え目で感じが良いばかりでなく、ギターもうまいのです（大きな手に注目）。ただ大人し過ぎるのが唯一の欠点。野心さえあれば、何をやっても成功すると思われるのですが。

PROFILES



鈴木 雄司

スポーツ少年、ゆうちゃんです。いつも千葉弁を用いて、「チバ・トーガネ」の象徴たらんとしています。ちょっと荒っぽくて最初は恐いのですが、実はいい奴です。ギターについては、甘くてきれいな音の持ち主ですが、最近ではS先生の影響か(?)、固い音もマスターして音楽の幅がずっと広がったようです。



中村 昭裕

まじめな人間ですが、親しみやすい人間でもあります。特にその責任感、実行力は当愛好会の貴重な存在で、大きく貢献してくれました。大人しそうですが話好きで、興が乗ると何時間でも語り合えます。演奏にも人柄が現れていて、落ち着いた余裕があり、聞く者に安堵感を与えてくれます。



関 総一郎

童顔でいつもニコニコ。しかしファイトマンで、腹もすわっている頼もしい男。ギターも重みのある音です……もっとも、これは技術がしっかりしているからです。彼は酒が大好きで、当然、コンパも大好きなのですが、家が遠いためか必ず早く帰ってしまうのがこの上なく残念です。



中山 真奈美

サークル歴は長いのですが忙しい人で、なかなかお目にかかれないのが残念。しかし、その男性的なおらかさとユニークさは印象的で、一度会えば絶対に忘れられない人です。ギター演奏では、彼女の女性的なナイーブな側面を見せてくれるものと大いに期待されるどころです。



中内 葉子

周囲がいかに騒がしくとも一人もの思いに耽ることが多く、「沈思黙考」まさにこれ。ギターも一つ一つ音を選んで丁寧に演奏します。その性格からか余り人前では弾きたがらないのですが、実に良いものを持っています。自分自身を前に押し出すいささかの強引さが身につけば、さらに飛躍するでしょう。



長谷川 哲也

夏休みも終わり、定演が近づく頃になると、部室に普段はあまり顔を見せなかった者も出入りするようになりますが、私はそういう部員の一人であります。日頃はジャズばかり聞いている人間ですが、ガットギターの音色のあの不思議な魅力にたまらなく魅かれるのであります。



永岡 大治

当愛好会のエンターティナーでコンパには欠かせない存在。ひょうきん者ですが、奥はなかなか深い人間です。楽器を拾ったことがギターを始めた契機だそうですが、もともと才能があったのか、ぐんぐん上達しました。曲のヤマでの聞かせ方は心憎いほどです。しかし偶然もバカにはならないものですね。



羽田野 俊一

柏原よしえの歌を口ずさみながら、はるばる横須賀から1限の講義にやってくる楽しく真面目な青年です。性格も穏やかで、一見ひ弱そうな印象を与えますが、実はスポーツマンであり、テニスの腕前はなかなかのもの。また、ギターを弾く時の口を半開きにした表情は不気味ですが、堅実な演奏を見せます。



春山 圭子

独奏経験を持つ貴重な存在です。特に、五月祭での先輩との二重奏は圧巻。寮生活で培われたものが独立心が強く、そのしっかりした性格ゆえ女子部員はもちろん男子部員からも大いに頼りにされています。今夜も、しっかりしたタッチで力強い音色を聞かせてくれることでしょう。



丸山 敦子

ギター歴は最も浅いのですが、好奇心旺盛な性格に助けられてか一番の練習熱心で、週一度のレッスンも欠かしません。部室へ来る時のお手製の差し入れは、今や我々の楽しみの一つになっています。意図せぬ面白味があって、人の気持ちを和ませる天賦の才があるようです。下級生からも慕われています。



平岩 剛

パワーの平岩、と呼ばれる由縁は……その力のこもった重厚な音を聞いて下されば、きっと納得して頂けるでしょう。それから、W先生門下生特有の鼻息も見逃さないで下さい。性格は温厚、ロマンティスト、そして真面目そうで裏は解らない。

本人評：「自分でも解らないんだよ」



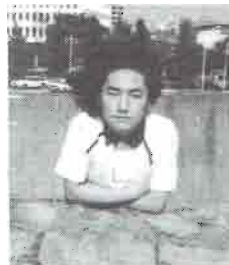
三上 達也

体は細いが野球がうまい。中学、高校時代には野球部において、今でも学内対抗戦の時は、彼がチームのエースをつとめます。スポーツマンらしく、からっとして、その上、英検を受けたり、ギター教室に通ったり、なかなか積極的でもあります。他の部員より入部は遅かったのですが、たちまち皆に溶け込みました。



松永 猛裕

なんとなく学者肌。最初はとっつきにくく思われたのですが、クラブに染まってからは大変おもしろい一員となりました。「師匠」の愛称で親しまれています。ギターは、一度覚えた曲は忘れるのがもったいなくて毎日練習するという熱心さです。本日は裏芸のリーダーですが、これもなかなかの腕前です。



森山 真

長くて暑苦しい髪、まるでバツハカヘンデルか、はてはイエス・キリストか…。ともかく、神のような音感を持っていることは確かです。なんと言っても4歳からピアノを習っていたのですから。厳めしい感じとは逆に大変つきあいの良い男です。また、物真似は天下一品で、コンパの必需品となっています。



松本 敏郎

いつもニヤけていますがその実体は……？やはりよく解らない人間です。「俺は多重人格なんだ。」と悪ぶっていますが、根はお人好しなようです。理系ですが人間観察の目は鋭く、しばしばハッとするような示唆を与えてくれます。ギターを始めたのは大学に入ってからですが、上達が早く皆をびっくりさせました。



横沢 誠

指はそれほど長くありませんが、とにかくギターが上手。指の動きがあまりに速くて見えないほどです(通称ワープ奏法)。リズム感もしっかりしており、またジャズファンとかで、演奏も粋なものです。合奏しか出演しないのは残念！上手な人ほど控え目なものです。

MEMBERS

2 年生

現3年生からクラブの運営を任されて約1年、執行部を務めてきた学年です。名前のみで実権が伴わない会長、名前以上の権力を握る会計等々、各々の仕事も最近ようやく板についてきました。全体的に大人しい者が多く、普段は1・3年生に抑され気味ですが、今夜は裏方の先頭に立ち、また合奏の中心となってステージを支えています。



1 年生

文字通り、我らがクラブの **freshmen**。人数が多い割に目立たない存在だったのですが、新歓、五月祭、夏合宿と行事（とコンパ）を経験するにつれて頭角を表し、今では上級生を圧倒して、主役の位置を占めつつあります。ステージは後方に見え隠れしている彼らですが、2年生を呑み込んでしまいそうなそのエネルギーに御注目下さい。



PLAYERS

1st Stage

Conductor	谷 口 寛 (2年)	
1st	萩原健一 (2年) 三宅桃子 (2年) 小口高 (1年)	木下正高 (1年) 高山知子 (1年)
2nd	木下薫 (2年) 高橋広視 (2年) 名雲俊忠 (1年)	前田智 (1年) 松田隆 (1年) 水谷誠 (1年)
3rd	金川邦子 (2年) 近藤功 (2年) 小林和浩 (1年)	白石淳雄 (1年) 藤岡一俊 (1年) 渡辺重哉 (1年)
4th	粕谷敦 (2年) 西尾祐子 (2年) 石垣里枝子 (1年)	遠藤司 (1年) 柏木和彦 (1年) 本名佳子 (1年)
Bass	橋本光裕 (2年) 松崎茂 (2年) 岡和彦 (1年)	清原浩文 (1年) 中島保 (1年) 野口昭彦 (1年)

4th Stage I

Conductor	高橋広視 (2年)	
Solo I	高木裕治 (2年)	
Solo II	山上敬 (2年)	
1st	石川卓哉 (2年) 門謙一郎 (2年)	春山美芽 (2年) 森正典 (2年)
2nd	粕谷敦 (2年) 金川邦子 (2年)	近藤功 (2年) 三宅桃子 (2年)
3rd	内海知明 (2年) 金井政子 (2年) 木下薫 (2年) 小林治美 (2年)	西尾祐子 (2年) 矢ヶ崎真由美 (2年) 読谷山苑子 (2年)
Bass	谷口寛 (2年) 萩原健一 (2年)	吉田格 (2年) 松崎茂 (2年)

PLAYERS

4th Stage II

Conductor	高 木 裕 治 (2年)	
1st	石 川 卓 哉 (2年) 山 上 敬 (2年)	門 謙一郎 (2年) 山 下 司 (1年)
2nd	春 山 美 芽 (2年) 井 上 直 樹 (1年) 大 沢 祥 子 (1年)	吉 田 格 (2年) 上 谷 直 子 (1年) 桐 山 章 (1年)
3rd	内 海 知 明 (2年) 宮 内 重 明 (2年) 読谷山 苑 子 (2年)	金 井 政 子 (2年) 矢ヶ崎 真由美 (2年)
4th	小 林 治 美 (2年) 久 場 孝 子 (1年) 吉 岡 昇 (1年)	森 正 典 (2年) 浜 田 功 (1年)
Bass	岡 敏 樹 (1年) 田 中 俊 一 (1年)	岡 田 芳 裕 (1年) 内 田 裕 介 (1年)

本年度定期演奏会役員

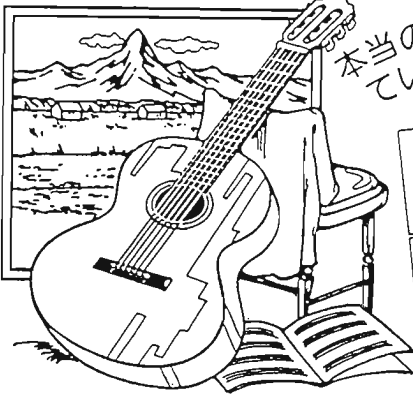
司 会	武 井 千代美 (白百合女子大学放送研究会)	
編 集	小 林 治 美 高 木 裕 治	構成・演出 高 木 裕 治 高 橋 広 視
写 真	宮 内 重 明 山 上 敬	谷 口 寛 萩 原 健 一
印 刷	西浦美術印刷所	

編集後記

順調に滑り出したかに見えた編集でしたが、なにしろズブの素人の仕事、多くのハプニングが発生して、原稿提出当日まで徹夜という事態になってしまいました。決して満足のいく出来ではありませんが、皆様の手に残るようなものになれば、と願っています。最後になりましたが、私達の無理なお願いを聞いて下さった西浦美術印刷所の方々に厚く御礼申し上げます。

すてきな友がいっぱい！ **N** 我国最大の規模を誇るギター教育の名門

新堀ギター音楽院



本当の音をやさしく
いねいに指導

生徒 募集

- 一般コース ■初級・中級クラス
- 小・中学生コース ■専門家クラス
- 高校・大学生コース その他

■専門教材(テキスト・年令別楽器)完備
■お問合せ **312-0166**
東京(03)

東京本院 / 東京都杉並区阿佐谷南1-1-15

院長 / 新堀寛己(国立音楽大学講師・日本ギター音楽学校校長)



ギターと古典楽器の専門店
が
渋谷にあります

- | | |
|---------|---------|
| 輸入高級ギター | リユート |
| 国内手工ギター | チェンバロ |
| 量産ギター | リコーダー |
| 合奏用ギター | パイプオルガン |
| 輸入ギター弦 | 国内・輸入楽譜 |
| ギター備品類 | レコード |

キタロ社

〒150 渋谷区渋谷1-23-19 ☎(409)3395~6

TOKYO UNIV. CLASSIC GUITAR CLUB